

子どもたちが  
もどってきたくなる街へ



討議資料

若い力で北杜を前へ 覚悟の完全無所属

池田 47歳  
やすみち

【池田やすみちと北杜をもっと魅力的な街にする会】だより 2020年10月号

## 池田やすみちプロフィール

- 1973年5月 父の勤務先である大阪府寝屋川市で生まれる
- 1986年3月 小野田市立高千帆小学校 卒業
- 1989年3月 宇部短期大学附属中学校 卒業
- 1992年6月 アメリカニューヨーク州オーバーン高校 卒業
- 1997年3月 国際基督教大学 教養学部 社会科学科 卒業
- 1997年4月 世界最大のコンサルティングファーム、アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア) 入社  
複数のコンサルティング企業など、民間企業で経験を積む
- 2011年 東日本大震災をきっかけに政治の世界を志す  
民間企業で働きながら、「みんなの党政治塾」や候補者ボランティアなどの活動
- 2013年1月 「みんなの党」渡辺喜美代表秘書(公設政策担当秘書等)として従事
- 2015年4月 「みんなの党」解党等に伴い、北杜市に移住  
「地域おこし協力隊」として地域活動に従事
- 2016年11月 北杜市議会議員選挙 出馬、当選

Q 趣味は？

A 以前は家族とよくキャンプをしてました。今は大自然が身近なので毎日キャンプ場にいるようです。

Q 休日の過ごし方は？

A 仕事柄、休日も予定が入りがちなので、半日は子どもたちからのリクエスト内容で過ごすことを心がけています。BBQなど家で過ごすことが多いですね。

Q 座右の銘は？

A 道は近きにあり

Q 北杜市で一番好きな場所は？

A 1ヶ所に絞るのは難しいですが、以前、地元の方に連れてってもらった石空川上流の河原。最高に癒されます。

✉ info@ikedayasumichi.com

📞 https://line.me/R/ti/p/%40504ufgdr

🌐 https://ikedayasumichi.com/

📍 山梨県北杜市高根町箕輪1364番 建部神社駐車場

☎ 070-5025-6880 🏠 北杜市武川町在住



## 子どもたちが戻ってきたくなる街へ 誰ひとり置き去りにしない北杜へ

市議会議員として地域のために働く機会を下さった市民の皆さま、ここに改めて感謝申し上げます。行政・議会の透明性や公平性にこだわり、提言や情報発信に力を注いできた結果、これまで表に出ることのなかった政策の詳細や課題などを、市民の皆さまと共有することで、新しい風を吹かせることができたかと自負しています。

一方で、人口減少・少子高齢化、経済・社会の持続性低下、厳しさのつづく財政など、地方都市が抱えている諸問題に、北杜も例外なく直面しています。大自然や景観、首都圏からの近さ、晴天率の高さ、空気や水や食べ物のおいしさなど、他自治体と比べて恵まれた環境を生かしきれているかといえば、改善・改革の余地がまだまだあります。北杜のこうした魅力を最大限に生かすことができれば、どこよりも明るい未来が待っています。

自分の子どもも北杜で育てたい。今以上に生き生きとした大人があふれ、自分もあんな生活をしたい。高齢者が安心感に包まれていて、自分もここを終の住処にしたい。こうした街であれば、子どもたちにとってUターンが当たり前の選択肢となるでしょう。そして自ずと全国からも注目され、移住者も増えるでしょう。決して夢物語ではありませんし、皆さまから求められている挑戦であると確信しています。

誰ひとりとして置き去りにしない、こうした未来へ市民の皆様とともに対話を重ねながら前進してまいります。



子どもたちが  
戻ってきたくなる街へ

# 子どもたちがもどってきたくなる街へ 池田やすみちが考える政策例

## お悩み・ご意見・ご質問募集!

ホームページ、LINE、ミニ集会などで皆さんのお悩み・ご意見・ご質問を募集しています。「子どもたちが戻ってきたくなる街」を作り上げるため、たくさんのお話、聞かせてください!

### 1 子どもたちを守り育む街へ

- ・いじめ・虐待専門の第三者相談窓口を市長直下に配置
- ・電話以外にもLINEなどで気軽に相談できる仕組みの整備
- ・学術的根拠や先進事例などを参考に、学校統合を前提としない“北杜市教育モデル”の構築
- ・北杜が誇る芸術や野外体験など“経験”に使えるチケットを配布
- ・若者会議を設置し、議論の結果を反映する事業予算を確保
- ・子ども食堂・宅食を充実

### 2 子育て、生活環境の向上へ

- ・産婦人科の市内誘致など、安心して出産できる環境整備
- ・シッターやハウスクリーニングなどに使える子育て支援クーポンの導入
- ・病児、病後児保育における訪問型サービスの構築
- ・不妊治療に対する補助金の増額
- ・子どもたちが安心して遊べる公園の整備
- ・給食費の無償化や医療費助成拡大などのサポート拡充
- ・市民が無料で参加できるアウトドアプログラムの定期開催
- ・公共のスポーツ施設の利用活性化



### 3 医療、福祉の充実へ

- ・介護認定の透明化、客観的にみて妥当性のある認定を実施
- ・福祉の現場や利用者の負担軽減を目的としたテクノロジーの導入
- ・希望に寄り添った在宅看取り率の向上
- ・病院統合議論の前に、満足度調査などの現状分析を実施
- ・観光と医療を組み合わせるメディカルツーリズムの検討推進
- ・高齢者の方が活躍できるボランティアリストの作成

### 4 地域の活性化へ

- ・観光資源でもある里山、農地、酪農などの原風景を守り育てる
- ・コワーキングスペースやシェアオフィスなど、新しい働き方に適応した環境の整備
- ・自治体負担ゼロの市内広域で使える無料Wi-Fi設置
- ・公共交通に自動運転の実証実験を取り入れ、きめ細やかな移動に安価で対応
- ・個人負担ゼロで北杜の環境作りに寄付できる仕組み導入
- ・農業を守る獣害対策としての里山整備の推進

### 5 市民に開かれた行政へ

- ・情報開示請求はオンラインでも受け付け、正確性と速度をもって回答
- ・市民へ伝達すべき情報と伝達方法を整理し、LINEやツイッターなどで情報を受け取れるようにする
- ・窓口をより便利に、オンライン問い合わせ窓口を設置
- ・常時市民の声が集まる仕組みを構築し、市政へ反映

### 6 行政組織の改革

- ・市長報酬と退職金合計の3割(月40万円)を調査研究費用へ
- ・費用対効果の観点から常に事業を見直す
- ・各種会議(審議会など)はオンライン傍聴を可能とする
- ・年功序列から能力・実績評価へ、人事評価制度の改革
- ・民間との積極的な人事交流による職員育成
- ・市民が誰でも参加できる市長との対話の場を毎週設ける

### 7 人口増加・移住政策

- ・各行政区が“決まり”を明文化し、事前のミスマッチを防ぐ
- ・行政区単位で空き家をDIYワークショップなどでリフォームし移住希望者への賃貸へ
- ・市外への通勤補助制度を拡充
- ・検討委員会からの提言書をもとに太陽光条例を改正

### 8 命を最優先に考える防災

- ・防災無線から、各家庭1台モバイル端末による情報伝達
- ・ハザードマップに過去の災害エリアを反映
- ・避難所の安全性を再点検
- ・活動の適正化など、団員を交えた本音の消防団改革を議論
- ・コロナ対策は、バラマキから困っている市民ピンポイントへ

